



兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校

令和7年度

学校通信 第2号

令和7年12月24日発行

『表現すること』の素晴らしさ

教頭 大上 高広

私にとって『表現すること』は、正直苦手なことです。仕事で求められることが多いにもかかわらず人前で話することは恥ずかしくて苦手ですし、踊る・描く・演奏するなどの技能もありません。もし『表現すること』がもっとできていれば、楽しい経験ももっと多くすることができたのかもしれません。私は、自分を表現することに「怖さ」がありました。ですから、私は自分を表現することができる人に憧れています。

2学期は運動会やオープンスクールのように、保護者の皆さまをはじめ、時には地域の皆さまを学校にお招きする行事がありました。たくさんの人の前で、本校の児童・生徒の皆さん自分が自分らしく表現している姿を見て、いつも素晴らしいと感じています。これからも自分を表現し、様々な人と繋がりをもちながら充実した人生を創り上げてほしいと、心から思っています。

保護者の皆さま、地域の皆さまには今後も子ども達の自己表現を温かく見守っていただけますと幸いです。



小学部

子どもたちは日々の学びの中で、心も体も大きく成長しています。今年度は、1年生2名を迎え、11名で小学部がスタートしています。

最近の行事でいうと、運動会では、子どもたちの輝く笑顔、友だちへの応援、そして、最後までやりきる姿に私たち教職員も大きな感動をもらいました。保護者の皆様にも多くのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

また、低学年の秋の遠足では、自然の中でのびのびと過ごす子どもたちの笑顔が印象的でした。友だちと一緒に活動し、お弁当を囲み、秋の風景を楽しむ時間は、子どもたちにとってかけがえのない思い出となったことでしょう。

そして、5、6年生は修学旅行に出かけ、公共交通機関や施設の利用にいたるまで、貴重な体験をしてきました。2日間の生活を通して、協力することや自分の役割を果たす責任感など、多くの学びを得たようです。

これからも、子どもたちが安心して学び、成長できる環境づくりに努めてまいります。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



※裏面へ



聴能部



聴能は「聞く力」「話す力」を育てるだけでなく、子ども自身が自分の聞こえを理解し、どうすれば聞きやすくなるかを自分で考える力を育てます。聴能部は、子どもの「聞こえの自己理解」と「伝える力」を日常の学習や生活の中で橋渡しをする役割を担っています。

主に以下のような仕事を行っています。

○聴覚管理…聴力測定やことばの聞き取りの評価を行っています。

補聴器や人工内耳、補聴援助システムなどに関する相談に対応しています。

病院、補聴機器メーカー・販売店と連携しています。

○聴能教育…自立活動などで聴覚学習を行っています。

きこえや補聴機器、福祉制度等、情報を提供したり、きこえの環境を整えたりします。

○聴能研修…きこえや補聴機器についての研修を校内・校外で進めています。

○外部聴能支援…豊岡聴覚支援センターと協働し、地域の子どもたちからのきこえや補聴機器に関する相談を受けています。

聴覚支援学校では、医師や言語聴覚士、認定補聴器技能者や近畿全域の聴覚支援学校聴能担当者などとも幅広く連携しながら、子どもたちのよりよい聞こえをサポートしています。

聞こえについて困ったことや相談したいことがあれば、

いつでも気軽に声をかけてくださいね♪



保健室より

今年度も、保護者の皆さんには日々の健康観察をはじめ、生活面や心理面など、様々な場面でご配慮・ご協力をいただき、本当にありがとうございます。保健室では、今年度も、子どもたちの「こころ」と「からだ」を支える場として、サポートしていきたいと思っています。

4月～6月には、健康診断がありました。学校医さんが行う健康診断（内科検診・耳鼻科検診・眼科検診・歯科検診）は少しどキドキしますが、「大きな声であいさつができたね。」「上手に検診が受けられたね。」と、たくさん褒めていただきました。また、学年が1つ上がるごとに、できることも増え、子どもたちの頑張りや成長を感じる場面もたくさんありました。

6月の歯と口の健康習慣では、映像や音楽に合わせて歯磨きができるように『はみがき動画』を作成しました。これまででは、歯磨きが苦手な子や短時間で終わってしまう子が多くいましたが、『はみがき動画』を見ながら歯を磨くことで、時間をかけて丁寧に楽しく磨けるようになってきました。

その他にも、7月～9月は熱中症予防、10月は災害時のお約束、11月～12月は感染症予防と、昇降口横の掲示物に触れたり、朝会で劇や動画を見たりしながら、自身の健康や身体について楽しく学べる機会を設けています。

今後も、「こころ」と「からだ」に関することや心配に思われていること等ございましたら、いつでもお声掛けください。

